ムダな大型開発よりくらし優先の市政を

「太田駅周辺開発より福祉や教育に予算を」が市民の声。
水野正己市議は、ムダな大型開発優先からくらし応援の市政への転換をはかるために、市民のみなさんと力を合わせ全力をつくします。

カフェ・図書館・美術館の複合施設、民間再開発ビル
太田駅周辺開発に37億円も

市が21・4億円を投入する計画の「太田駅北口駅前文化交流施設」と、南口の民間再開発ビルへの15・4億円の補助金。市長は、新しい施設でまちの雰囲気を一変させたいと、市街地活性化の「特効薬」のように言っています。

日本共産党市議団は、カフェや図書館・美術館を併設する新施設の建設より、今ある図書館や駅なか文化館、まちかど美術館などの有効活用こそ重要と強調。ましてや、マンションやテナントなどが入る2つの民間の再開発ビルへの補助金投入など論外であることを指摘し、計画の撤回を求めています。

市民には負担増とサービス切りすて

一方で、昨年4月からは、上下水道料金の消費税増税や、1・1億円もの給食費の値上げ、今年4月からは、6億円もの介護保険料の負担増をおしつけようとするなど、生活のやりくりに苦しむ市民に追い打ちをかけています。また、小中学校の修繕や側溝のふたの設置など、身近な市民要望には「予算がない」と後回しする逆立ち市政です。

日本共産党市議団以外、市長いいなり

市議会では、水野正己議員と渋沢ゆきこ議員以外は、負担増やサービス削減などの市民いじめに何でも賛成で市長いいなりです。

※「太田駅北口駅前文化交流施設」への国交付金は8億1千万円。民間の再開発ビルへの補助金は国が7億2千万円・県が2億9千万円。

日本共産党 水野正己は提案します

くらしを応援するまちづくり

- 国保税1世帯1万円の引き下げ。介護保険料の値上げを許さず、1人5千円の引き下げ。介護保険利用料の軽減。特養ホームを増やします。
- 介護サービスを充実し、職員の処遇改善を図ります。
- 公共バスの充実。福祉タクシー券の拡大、高齢者タクシー券を発行します。「買い物弱者」対策を強力に進めます。
- ゴミ出しが困難な高齢者世帯への支援制度をつくります。
- 老人福祉センターなどの廃止・縮小を許さず、身近な公共施設のサービスを充実させます。

中小企業を応援するまちづくり

- 住宅リフォーム補助制度を毎年実施させます。
- 商店リニューアル補助制度を創設します。

店舗のリフォーム・備品購入を市内業者に発注した商業・サービス業者に補助金を交付します。すでに高崎市で実施され、地域経済の活性化に大きな効果を発揮しています。



子育て安心のまちづくり

- 値上げされた給食費を緊急にもとに戻し、さらに無料化を進めます。
- 保育園、学童クラブの新・増設と保育士・指導員の処遇改善へ。
- 発達相談窓口の体制・障がい児保育の整備・充実を図ります。
- 防犯灯・カーブミラー・通学路整備をすすめます。学校施設の修繕やトイレの改修などに、優先的に予算を配分します。



財政調整基金（市の貯金）は83億円
たまった基金は市民のために

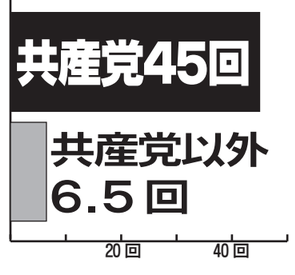
太田市には何にでも使える財政調整基金が82.9億円（15年3月末見込み）あり、15年度当初予算も、地方交付税は24.6億円減収となるものの、市税は37.9億円増収（いずれも前年度比）とされています。

たまった基金も市税も市民のためにこそ使われなくてはなりません。

市民の願い実現にぶれないのはどの党・会派？【11年5月～14年12月議会】○採択に賛成 ×採択に反対

請願内容	共産党	公明ク	保守系	市民の会
家族の労賃を認めない所得税法56条廃止を政府に求める請願	○	×	×	×
子ども・子育て新システム導入に反対し、保育制度拡充を政府に求める請願	○	×	×	×
最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を政府に求める請願	○	×	×	×
競争教育を加速させる全国いっせい学力テストの学校別結果公表反対を政府に求める請願	○	×	×	×
核兵器の全面禁止のための決断と行動を政府に求める請願	○	×	×	○
集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を政府に求める請願	○	×	×	○
30人学級による行き届いた教育を政府の求める請願	○	×	×	×

抜群の発言力
議員1人当たりの発言回数



※14年5月臨時議会～14年12月議会までの本会議での一般質問、議案質疑・討論の回数。